



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2540

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENT'S

●表紙	1
●柳谷ガバナー メッセージ	2
●国際ロータリー会長 メッセージ	3
●地区研修・協議会開催報告	4
●IM開催報告(北区)	5

●PHF・米山功労者ご紹介、新入会員のご紹介	8
●コーディネーターNEWS	9
●6月のRIレート、4月会員数、出席率報告	10
ガバナーより今月のことば、文庫通信	



“わ”のまち能代から「花火」のまち大仙へ!

国際ロータリー第2540地区
ガバナー 柳谷悦磨

〒016-0825 秋田県能代市柳町9-23 プラザ都内
TEL.0185-74-8586 FAX.0185-54-5060



「親睦と奉仕」

6月はロータリー親睦活動月間です。ロータリー親睦活動は、共通の趣味や職業に関連した活動を通じて国際交流や親睦を深めるものです。

1928年エスペラント語に関心を持つロータリアンが集まったのがその始まりです。また1947年発足の「ロータリアンの国際ヨット親睦グループ」は現在3300人を超える会員が参加しており、37カ国で109のイベントが開かれてきました。2018年現在、76のロータリー親睦活動グループがあります。2002年に発足された「ロータリー囲碁同好会」は本年4月22日、東京で第19回国際ロータリー囲碁大会を開催しています。（「友」6月号参照）

ロータリーの基本は「親睦と奉仕」といわれています。ロータリー創生の頃は「親睦と相互扶助」でしたが、その後社会奉仕が重要視され、「親睦と奉仕」が基本理念となってきました。

親睦というと、いわゆる親睦会（飲み会や同好会）を思い起こします。クラブの親睦委員会の活動もそれらが中心となっているようです。もちろん会員の交流や連帯を深めるには良い機会となります。

しかし、ロータリーの真の親睦は本来例会に求められるものです。「親睦」は(fellow ship)の訳語です。元々の意味は仲間であること、利害・行動などを共にすること、フレンドシップよりも強い絆で結ばれたものです。

例会に出席することによって、会長始め様々なジャンルの会員やゲストの講話は、私たちに確かな変化をもたらします。また、ロータリーでは年齢・性別・役職を問わない平等の関係が前提ですから、自由な発想で話し合い、お互いに学び、人格を高め合い、連帯感が強まることにより、奉仕の心につながっていきます。卒業のない大人の学校と私は思っています。

ロータリーの目的

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々奉仕の理念を実践すること。
- 第4 奉仕の理想に結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

私のガバナー年度もあと少しとなりました。何とか体調を崩さずに無事に終えることができそうです。ガバナーノミニーからおよそ2年半、皆様には大変お世話になりました。微力ながらこれからも「ロータリーの未来にむけて 私にできること クラブにできること」を実践していくつもりです。

ありがとうございました。

2017-2018年度ガバナー
Yanagiya Etsumaro
柳谷悦磨



ロータリアンの皆さま



この60年、テーマを選ぶことは次年度国際ロータリー会長にとっての荣誉であり、時として課題でもありました。過去のテーマを振り返ることは、歴代の会長が抱いた考えやビジョンを知る窓を開くようなもの。

窓を開けば、彼らが見たロータリー、彼らが考えた世界におけるロータリーのあるべき場所、そして、彼らが望んだロータリーの達成事項が見えてきます。

テーマを選ぶ順番が巡ってきた時、私の心に迷いはありませんでした。2017-18年度テーマは「ロータリー：変化をもたらす (Rotary: Making a Difference)」だとすぐに思いました。私にとってこの短いフレーズは、単に今私たちが行っていることだけではなく、強く望んでいることについても当てはまります。私たちは変化をもたらしたいのです。支援し、インパクトを与え、世界をほんの少し良くしていこうと努めているのです。

この2年間、私はロータリーのさまざまな方法でそのように行動しているのを目にしてきました。昨年、山火事で甚大な被害が出たアメリカ・カリフォルニアでは、全てを失った人たちに「変化をもたらす」ロータリアンに会いました。グアテマラでは、簡素なまきストーブを提供したことで、それまでたき火で調理していた女性たちの生活に大きな変化をもたらされました。これで彼女たちは、煙に巻かれながら調理したり、まき拾いに多くの時間をかけたりすることなく、ストーブを使って小さな事業を始めています。イスラエルでは、私はロータリーが支援している高圧酸素療法センターを訪れ、脳損傷や脳卒中の患者が健康で生産的な生活を送れるよう治療を受ける現場を見

ました。その他にも、ロータリアンは世界各地の地域社会で、難民を定住させ、子どもたちへの予防接種を行い、安全な血液供給を支え、若者へ教育・生活を支援し、変化をもたらしています。

また私は、世界中で行われたロータリアンの植樹活動に参加してきました。こうした本誌が発行される間にも、植えられた樹木の数は増えているでしょう。しかし、この段階でロータリアン一人につき1本の木を植えることで、120万本の植樹をするという私たちの目標はすでに大いに上回っているということを、私は大変うれしく思っています。さらに、ロータリアンは世界中で、ポリオ撲滅のためにアドボカシー、ファンドレイジング（資金調達）などの支援活動を続けています。昨年、野生型ポリオウイルスよる発症はたった22件、わずか2カ国に抑えることができました。この数は間もなくゼロになり、撲滅の時系列の中で、新たな局面を迎えることになることと確信しています。その局面とは、ポリオのない世界の認定に向けた、最後の発症から3年を経過するまでのカウントダウンです。

これで私とジュリエットは、訪問した多くの場所、新たな友人、この目で見た奉仕など、温かい思い出を胸に、オーストラリアへ帰ることとなります。「ロータリー：変化をもたらす」のテーマを通じて、皆さまが実現される偉大な奉仕の数々に、心から感謝申し上げます。

2017-2018年度国際ロータリー会長
イアン H.S. ライズリー

地区研修・協議会 報告

次期地区幹事 加賀 美奈 (大曲RC)

5月13日(日)大仙市グランドパレス川端で10時30分から、地区委員や、クラブ会長・幹事・委員長・新会員など総勢230余名が一堂に会し、次年度のクラブ運営を学ぶ為に「地区研修・協議会」を開催しました。

本会議1では、始めに柳谷ガバナーからご挨拶いただき、次に富樫ガバナーエレクトは挨拶とRI方針「BE THE INSPIRATION」を受けて地区方針「私にできる奉仕を見つけよう」を発表しました。続いて、平澤次期地区長期計画委員長から委員会説明、村越ロータリーの友委員長より「友誌」の説明がありました。

午後は基調講演から始まり、講師に鶴岡ロータリークラブの藤川享胤パストガバナーをお迎えし「ロータリーの矜持」についてお話しいただきました。「変わっていいものと、変えられないもの。真の奉仕とは。そしてロータリアンの資質とは。」RIに精通した藤川様のお言葉は、聴講した皆様の心に響く講演でした。また、素晴らしいお話を聞けたと多くの方に感想をいただきました。

その後、分科会が開かれ、第1分科会は会員拡大とクラブ管理、第2は職業と社会奉仕、第3は財団と国際奉仕、第4は米山・インターア

クト・青少年交換、第5は広報とロータリーの友、第6は新会員に分かれ、研修を1時間行いました。

本会議2では、分科会リーダーから分科会報告。規定審議会委員会副委員長の村上パストガバナーより説明があり、続いて阿部米山記念奨学委員長より奨学生の紹介がありました。そして柳谷ガバナーより講評を頂き、次年度に向けての議案審議を行いました。その後、ガバナーからガバナーエレクトへ地区旗の引き渡し、また塚本地区幹事と加賀次期地区幹事も登壇しバッジの交換をしました。閉会の前に、藤川様が本日の感想をお話くださり、研修協議会を締めさせていただきました。

5時から懇親会を始めました。これまでのセミナーをサポートしていただいた平澤研修委員長が乾杯の発声、その後は親睦タイム。中締め挨拶は松浦パストガバナーが行い、長い一日を終え次年度に向けて思い新たに帰路に着きました。

終わりに、ホストとして大曲仙北6クラブに支えていただきました。参加者の皆様、運営に携わってくださった皆様にこの場をお借りして感謝申し上げます。

富樫ガバナーエレクトによる地区方針説明



基調講演：鶴岡RC 藤川享胤パストガバナー



2017-2018年度国際ロータリー第2540地区 北区IM開催報告書

北区G補佐 秋本 守正・大高 光晴

2018年4月28日(土)日本晴れの青空と満開の桜、そして生後10ヶ月の秋田犬「嵐」の出迎えを受けて、大館市にあるプラザ杉の子で北区IMは開催されました。

今年度地区テーマ ロータリーの未来に向けて
「～私にできること クラブにできること」
北区16クラブの会長(代理可)にパネルディスカッション1部と2部に分けて発表してもらいました。

第1部 アドバイザー 村越 正道
コーディネーター 西村 政幸

①大館RC 菅原 訪順

祭り会場で「ポリオ撲滅」の募金継続、ロータリー財団の地区補助金で郷土博物館の遊歩道整備、市内高校生とのコラボで「おおだてシニアファッションショー2018」の開催。

②十和田秋田RC 八重樫 學

地域の青年会議所出身者をロータリーのイベントに招待して入会を勧め効果を上げている。

③大館南RC 伊藤 秀基

「東日本大震災の募金活動」を市内4RCと市内高校生(インターアクトクラブ)と一緒に活動し6年間で合計1,276,005円となっている。また、ロータリー財団の地区補助金でインドネシアの小学校へ机と椅子の寄贈をしている。

④能代南RC 宮腰 慶聡

市内複数の場所へエコキャップ回収容器の設置と回収を続けている。能代支援学校へクリスマスプレゼント等。

⑤二ツ井RC 境 一孝

(1)国際ロータリーの現状とは(2)地区ロータリーの現状とは(3)二ツ井クラブの現状とは。以上につ

いて、色々有意義に意見を述べられた。ただ、年会費35,000円で如何?

⑥潟上RC 菅原 三朗

創立50周年の記念事業を開催するため、会員増強に努め成果を挙げたが50周年式典終了後、下半期になって出席率の減少に苦慮している。

⑦能代白神RC 福士 久紀

ロータリー財団の地区補助金を活用して「2017白神婚活」を実施したが補助金確定が遅れたので苦労があったが、初めての婚活事業を行った。会員全員参加でやり遂げられた。

⑧大館中央RC 丸山 満夫

創立当初以来25周年、比内支援学校と交流を継続している。本年はロータリー財団の地区補助金活用で市立図書館敷地へ移築された松下村塾への建立説明書の看板を会員が持っていた樺の木で制作し全員で除幕式を行った。

第2部 アドバイザー 村越 正道
コーディネーター 西村 政幸

①鷹巣RC 佐藤 康弘

新年度早々に男性1名、女性1名の新会員を増強できました。継続しているネパール支援や発達障害の心配のある子どもの施設への支援、6月に開催されるトロント国際大会へ会員4名とその家族が同行する予定等。

②大館北RC 近田 守

会員1名増強、10月16日兵庫県の篠山RCとの交流で大館鳳鳴高校と同じ名前の篠山鳳鳴高校で交流会が実施されました。今後は内陸線利用で角館RCとの交流を図りたいと思っていますところ

③能代RC 宮腰 誠

会員増強 +2-2=0、米山奨学生の母国と日本との懸け橋の事例紹介および国際奉仕事業として「のしろ日本語学習会」への助成金贈呈等の支援やロータリーアクトの再開。

④山本RC 岡 正英

職業奉仕賞をAターンして5年目になる地域農園の活動に対して授与した。ロータリー財団地区補助金の活用で森岳歌舞伎の後継者の育成目的で高価な子供歌舞伎の衣装一式寄贈の目録を贈呈した。国道7号線のクリーンアップや第18回山本RCスポーツ少年団野球大会を開催予定。

⑤花輪RC 田中 喜郎

例会の変更、年間52週のうち11回を休会した。例会日以外にファイヤーサイドミーティングの実施や、移動例会での遠方への研修旅行も実施した。これは新会員の入会にも良い結果につながり、また例会費用を抑え他の活動に活用できた。

⑥男鹿RC 石塚 静夫

例会を月2回（隔週）に変更した。

良い点：次の例会前に電子メールでメンバー間の意思疎通を図る機会が増えた。不都合な点：例会日が間遠になったことによる外部連絡等への対応に遅れが生じがち（最近は減少）なることが注意事項となっている。

⑦五城目RC 今村 龍雄

例会を月4回から3回にしています。出席率への影響もなく、地元の若手企業家や移住者を招待し講演会や見学会を開催する活動をしている。また、五城目高校インターアクトへの支援や地区交流として五城目町・八郎潟町・井川町・大潟村の学童野球親善交流大会を主催しており、昨年時点で15回の実施で、地域への認知度も深まっています。

⑧男鹿北RC 佐藤 正昭

今年度より例会を月2回に変更。原則、第1、第3火曜日の19時開始としています。特に以前との違いは感じておりません。地区内4クラブへ声を掛けてゴルフコンペ・クリスマス家族例会や、男鹿クラブ・航空自衛隊との合同新年会等の親睦活動が順調です。

◎以上16RCの発表があり、それぞれに質疑応答がなされましたが、「例会回数の減少に伴う地区大会での連続または通算出席表彰に不公平感が出るのでは？」の疑問には7月に開かれる2017-2018年度地区表彰委員会で答えが出るのではないかとアドバイザーの意見でまとまったようです。

◎ガバナー講評

今日で地区3回目のIM全てが終わりました。それぞれのIMに特徴があり非常に面白かった。地区のテーマ「～私にできること クラブにできること～」について皆さんの努力の成果が見受けられました。ガバナー・パストガバナーに対して厳しい指摘も貴重な意見として受け止めました。ガバナー1人では何にもできません。ガバナー補佐をはじめ地区役員の方々、そしてロータリアンの皆様のチームワークが大切なのだと思います。それぞれきっと「ああ、そうか！」という点があったかと思いますので、それを今後の「自分(私)にできること クラブにできること」に活用してほしいと思います。今日は本当に素晴らしいIMでした。

◎登録者数131名+家族5名でIMはプログラムの時間通りきっちり終了できました。コーディネーター・アドバイザーの連携の賜物だと思っています。最後になりましたが、ホストクラブの大館中央RCの皆様、家族の皆様、そして参加下さったロータリアンの皆様に感謝と御礼を申し上げ報告書とします。

開会の挨拶：秋本北区ガバナー補佐



講評：柳谷ガバナー



IM発表者



PHF・米山功労者ご紹介

○秋田ロータリークラブ
宮下 正弘 Miyashita Masahiro
表彰分類 MPH 10回目 米山功労者6回目
2005-2006年度 クラブ会長
2015-2016年度 ガバナー
入会年月日 1997年4月



○秋田港ロータリークラブ
嶋田 弘 Shimada Hiroshi
表彰分類 米山功労者6回目
2017-2018年度 クラブ理事
入会年月日 1971年8月



○秋田港ロータリークラブ
澤田石 晶 Sawataishi Akira
表彰分類 米山功労者2回目
1997-1998年度 クラブ幹事 2005-2006年度 クラブ幹事
2009-2010年度 クラブ会長
入会年月日 1993年8月



○秋田港ロータリークラブ
加藤 耕 Kato Kou
表彰分類 PHF 1 回目
2017-2018年度 クラブ幹事
2018-2019年度 クラブ副会長
入会年月日 1992年1月~1999年6月 再入会2012年7月



○秋田南ロータリークラブ
伊藤 久一 Ito Kyuichi
表彰分類 MPH 5 回目
2007-2008年度 クラブ会長
入会年月日 1980年3月
チャーターメンバー



○秋田南ロータリークラブ
猿田巳代治 Saruta Miyoji
表彰分類 MPH 5 回目
1997-1998年度 クラブ会長
入会年月日 1980年3月
チャーターメンバー



○秋田南ロータリークラブ
加藤 憲成 Kato Kensei
表彰分類 MPH 5 回目
2009-2010年度 クラブ会長
入会年月日 1980年3月
チャーターメンバー



○秋田南ロータリークラブ
布袋屋 喬 Hoteya Takashi
表彰分類 MPH 4 回目
入会年月日 1981年7月



○秋田南ロータリークラブ
田村 典美 Tamura Norimi
表彰分類 MPH 5 回目
2011-2012年度 クラブ会長
入会年月日 1987年7月



○秋田南ロータリークラブ
石黒 学 Ishiguro Manabu
表彰分類 米山功労者1回目
2016-2017年度 クラブ幹事
入会年月日 2013年9月



○秋田南ロータリークラブ
村上 康継 Murakami Yasutsugu
表彰分類 米山功労者4回目
2013-2014年度 クラブ会長
2017-2018年度 ガバナー補佐
入会年月日 1994年7月



○秋田北ロータリークラブ
今井 正雄 Imai Masao
表彰分類 米山功労者9回目
2001-2002年度 クラブ幹事
2004-2005年度 クラブ会長
入会年月日 1990年3月



○秋田北ロータリークラブ
渡邊 光 Watanabe Koh
表彰分類 PHF 1 回目
2007-2008年度 クラブ幹事
2017-2018年度 クラブ会長
入会年月日 1994年8月



○湯沢南ロータリークラブ
岩野 信雄 Iwano Nobuo
表彰分類 MPH 2 回目 米山功労者1回目
1993-1994年度 2003-2004年度
2010-2011年度 2017-2018年度
入会年月日 1978年6月
クラブ会長



○湯沢南ロータリークラブ
宮原 保夫 Miyahara Yasuo
表彰分類 米山功労者4回目
2002-2003年度 2007-2008年度
2012-2013年度 2015-2016年度
2017-2018年度 ガバナー補佐
入会年月日 1989年8月



○角館ロータリークラブ
仲野谷勝雄 Nakanoya Katsuo
表彰分類 PHF 1 回目
2000-2001年度 クラブ幹事
2017-2018年度 クラブ副会長
入会年月日 1997年10月



○角館ロータリークラブ
大澤 佳之 Osawa Yoshiyuki
表彰分類 PHF 1 回目
2010-2011年度 2013-2014年度
2015-2018年度 国際奉仕担当理事
2012-2013年度 職業奉仕担当理事
入会年月日 1997年4月



○角館ロータリークラブ
後藤 薫 Goto Kaoru
表彰分類 PHF 1 回目
2017-2018年度 クラブ会長
2011-2012年度 クラブ副会長
入会年月日 2009年1月



新会員のご紹介 ようこそロータリーへ

○花輪ロータリークラブ
高橋 和也 Takahashi Kazuya
職業分類 保険代理業
勤務先 住友生命保険相互会社鹿角支部
役職 支店長
入会年月日 2018年5月1日 紹介者 清水 順義



○秋田港ロータリークラブ
大槻健太郎 Otsuki Kentaro
職業分類 電気事業
勤務先 東北電力株式会社秋田火力発電所
役職 所長
入会年月日 2018年7月7日 紹介者 佐藤 竹昭



○秋田港ロータリークラブ
近藤 信也 Kondo Shinya
職業分類 信用金庫
勤務先 土崎信用金庫土崎支店
役職 支店長
入会年月日 2018年7月7日 紹介者 木村 繁



○秋田港ロータリークラブ
保坂 英明 Hosaka Hideaki
職業分類 銀行
勤務先 秋田銀行土崎支店
役職 支店長
入会年月日 2018年7月28日 紹介者 木村 繁



○秋田港ロータリークラブ
宇野 剛正 Uno Takemasa
職業分類 洋紙製造
勤務先 日本製紙株式会社秋田工場
役職 事務部長
入会年月日 2018年10月13日 紹介者 佐渡谷寿美子



○秋田港ロータリークラブ
後藤 敬太 Goto Keita
職業分類 医療事務
勤務先 医療法人 久盛会
役職 統括部長
入会年月日 2018年5月25日 紹介者 加藤 耕



○秋田東ロータリークラブ
知見 将彦 Chiken Masahiko
職業分類 保険年金
勤務先 明治安田生命保険相互会社秋田支店
役職 支店長
入会年月日 2018年4月16日 紹介者 阿部 真司



○男鹿ロータリークラブ
千葉 修 Chiba Osamu
職業分類 製油業
勤務先 株式会社テクノ
役職 代表取締役社長
入会年月日 2018年4月1日 紹介者 木下 勉



○湯沢ロータリークラブ
高橋 雄輝 Takahashi Yuki
職業分類 車輛、その他 賃貸業
勤務先 ㈲レンタカーこまち
役職 取締役
入会年月日 2018年5月10日 紹介者 松田 光雄



○能代南ロータリークラブ
目黒江身子 Meguro Emiko
職業分類 生命保険
勤務先 日本生命保険相互会社
役職 営業
入会年月日 2018年5月15日 紹介者 宮腰 慶聡



Rotary

Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター NEWS

2018年6月号

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

■嬉しいニュース



去る4月27、28日イタリアのターラントで、イアン会長主催の平和会議（母子の健康）が開催されました。その席で偶然、財団学友（2006～2008年）の澤屋奈津子さんにお会いしました。彼女は2760地区名古屋大須ロータリークラブをスポンサーに持つ、活発な女性活動家です。現在はアフリカのニジェールに住み、現地で仕事に励まれています。彼女とは、昨年アトランタ大会で名刺交換をして我が地区出身と知り、親近感を覚え家内と3人で30分くらいお喋りをしたので、今回の再会は3人で抱き合って喜びました。しかし、平和フェローなど海外で働く学友の中には精神的に病む者、就職先が決まらない者など、新たな課題となっています。社会に出てからも彼等と連絡を取り合い相談相手となって、彼等の志を頓挫させないようにしたいものです。

国際ロータリー 理事 斎藤直美

■ロータリーの評価は毎日の行動

ロータリアンは、ロータリーをどのように思い、感じて、どう行動していきたいのでしょうか。もちろん人それぞれ思いも違いますし、行動していきたい内容も異なります。しかしロータリアン以外の人々はクラブもロータリアンも同質とみえています。全体像がいわゆるロータリーの中核的価値観に合致すれば公共イメージと認知度につながります。自分たちの土俵であるロータリーを良くすることは自分自身をさらに高めることができます。それにはロータリーを学ぶことです。日常生活において、物事に興味をもって取り組むと、さらに楽しむことが多いことと同じだと思います。

公共イメージと認知度の向上は、いわゆるブランディングであります。ロータリアンに気づくいろんな伝統・行事があります。古い歴史がありますが、その時代時代において人々が引き継ぎ、さらに良いものに変えてきたものが残っているわけです。今世紀に増加しているボランティア団体の中に、ロータリークラブが存在しているその重要性、良さを実感できるためには、一人一人がどうロータリークラブに貢献できるか、仲間と楽しめるかを考えていくことだと思います。そして、ロータリーが他の人から評価されるのは、ロータリアン個々の毎日の行動や発言によるものが大であると自覚することが必要であると私は思います

第2ゾーン ロータリーコーディネーター 田中正規

Rotary



■なぜ、公共イメージの向上が必要か

「ロータリーはこの14年間、会員が増えていない。クラブ数は15%増えているがバケツから水が漏れている状態だ」これは私がこの3月に参加したエバンストンの研修であるモデレーターから聴いた言葉である。RIの危機感をひしひしと感じた。多額の費用をかけたアンケートの結果、ロータリーを知る人が意外と少なく、また知っていてもその活動についてほとんど知られていなかった。改めて今「ロータリーとは何か」「ほかの団体とどう違うのか」「なぜロータリーが必要なのか」が私たちロータリアンに一人ひとりに問われている。

2011年にRIはロータリーの公共イメージ向上を目的とした数年間の取り組みを開始した。その目的はロータリーに対する理解を促進すること、また現会員や入会見込者、寄付者、戦略パートナーのモチベーションを高め行動を促すことである。近年、戦略計画の1つの「公共イメージと認知度の向上」について「世界を変える行動人」キャンペーンが推進されている。

これは従来のロータリーと一般社会とのコミュニケーションのあり方を見直すもので長期的かつ「私たちが何者であるかを伝えるキャンペーン」である。具体的にはロータリーのアイデンティティ（ロータリーらしさ）を共通のビジュアルを用い、様々な活動の行動に焦点を当て、かつ「物語」（ストーリー）に仕立て社会に発信しようというものである。クラブの活動・文化をストーリーにしてSNSなどで発信することで社会から共感を得る狙いがある。確かに人は物語から学び感動する。この点においてホームページの見直しも必要ではないか。そこに共感と呼ぶストーリーがあるか。写真1枚にも活動するロータリアンの姿が生き生きと映し出されているか。行動を呼びかけるものになっているかどうか。ご検討をお願いする次第である。

第2ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 柳生好春

■公共イメージ向上につながる三つの基本

本年度第3ゾーンでは、各クラブと地区の公共イメージ向上につながる三つの基本的な活動の推進に取り組みしました。一つはロータリー活動のマスメディアを通じた広報活動のルーティン化、二つ目は会員の「My Rotary」への登録率アップ、三つ目は「Rotary Club Central」への各クラブの入力と、活用率のアップでありました。二つ目と三つ目の目標は今期かなりの前進が見られましたが、広報活動は地区によっては進展が見られるものの、次年度は更なる新たな戦略が必要です。各地区リーダーの皆様のご協力を引き続き宜しくお願い致します。

第3ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 横山守雄

■今年度スタート時のアンケートから

地区リーダーの皆さんは「魅力あるクラブ、個性的なクラブを目指すことがクラブの活性化に繋がり『退会防止』『会員増強』に効果を発揮する」とお考えでしたので、目的達成支援の為に地区別専任担当のARCの方々から、より具体的な情報ときめ細やかな施策を提供させて頂きました。地区・クラブの環境などの違いから画一的な支援では対応しきれないことを改めて感じ、専任担当制は効果があったのではと結果に期待しております。高島・伊藤・穴井ARCの地道なご努力とご協力に心より感謝申し上げます。

第3ゾーン ロータリーコーディネーター 若林紀男

■お陰様をもちまして地区ガバナーをはじめ、関係者の皆様のご協力により2017-18年度の国内3ゾーン合同のコーディネーターニュースは年度最終号（6月号）をお届けすることができました。2018-19年度も引き続き発行を予定していますのでよろしくお願ひ致します。地区において私どもコーディネーターがお役に立つことがあれば遠慮なくもよりのコーディネーターにお申し付け下さい。

編集担当 第1ゾーン ロータリーコーディネーター 酒井正人

柳谷悦磨ガバナーより

今月のことば

奉仕を主とする 業は栄え
 利益を主とする 業は衰う
 ヘンリー・フォード (フォード創業者)

文庫通信369号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近の文献より

- ◎「回首原点—ロータリーの心を尋ねて(その7)」 佐古亮尊 大村北R.C. 2011 224p
- ◎「ロータリーの心をたずねて」 富田英壽 2017 104p
- ◎「“ロータリー” 原点への回帰(M記録誌)」 龍野R.C. 2018 48p
- ◎「横浜港北ロータリークラブ早わかり—新会員、3年未満の会員用教材」 横浜港北R.C. 2017 76p
- ◎「第28回ローターアクト研修会並びに 第13回アジア太平洋地域ローターアクト会議大会報告書」 D.2650R.A.C. 2017 33p
- ◎「社会奉仕委員会2016～2017年度事業報告集」 D.2650 [2017] 184p

〔上記申込先：ロータリー文庫〕

◎「DVD/先生、ありがとう」 監督・脚本・演出：鈴木一作 寒河江RC 2012 105分

〔申込先：D.2800 TEL(0237)85-1882〕

◎「純ちゃんのコーナー (ロータリー3分間情報) PartXVI」 深川純一 伊丹R.C. 2017 55p

〔申込先：伊丹R.C. FAX(072)775-1223〕

◎「ロータリー財団ハンドブック(改訂第4版)」 ロータリー情報研究会 2018 184p

〔申込先：ロータリー情報研究会 FAX(050)3730-5737〕

分区	クラブ名	6月末 会員数	7月1日 会員数	4月末 会員数	女性 会員数	40歳未満 会員数	増減	例会出席率
大館・鹿角	大館	36	36	36	1	1	0	55.86%
	花輪	19	19	21	1	1	2	83.09%
	鷹巣	14	14	16	1	0	2	64.50%
	大館北	18	18	19	3	0	1	68.42%
	十和田秋田	27	27	28	0	1	1	100.00%
	大館南	35	35	36	1	0	1	79.17%
	大館中央	17	17	17	1	0	0	85.29%
能代・男鹿	能代	56	57	56	5	4	-1	58.33%
	能代南	9	9	10	1	0	1	70.00%
	男鹿	12	12	12	3	1	0	74.40%
	二ツ井	9	9	9	1	0	0	77.80%
	五城目	14	14	14	0	0	0	67.00%
	湯上	32	32	33	0	0	1	76.21%
	男鹿北	16	16	16	0	2	0	66.00%
	山本	21	22	20	0	2	-2	83.75%
秋田	能代白神	14	14	16	7	0	2	72.29%
	秋田	93	93	83	4	0	-10	81.00%
	秋田東	72	72	78	4	4	6	100.00%
	秋田港	37	37	39	3	0	2	92.31%
	秋田北	46	46	50	2	0	4	100.00%
	秋田南	25	25	25	1	1	0	93.05%
	秋田中央	37	37	39	2	1	2	82.91%
本荘・由利	秋田西	12	12	17	3	1	5	49.01%
	本荘	31	31	30	0	0	-1	73.08%
	矢島	10	10	10	0	0	0	70.00%
	仁賀保	9	9	8	0	0	-1	100.00%
	象潟	7	7	7	0	0	0	95.00%
	本荘東	21	21	21	0	1	0	92.20%
大仙・仙北	本荘南	9	9	9	0	0	0	55.55%
	大曲	53	54	55	5	3	1	81.86%
	角館	11	11	12	1	2	1	91.40%
	大曲南	15	15	13	2	0	-2	100.00%
	大曲中央	11	11	11	4	1	0	100.00%
	田沢湖	16	16	16	1	1	0	87.50%
横手・湯沢	大曲仙北	14	14	14	4	0	0	90.00%
	湯沢	62	61	63	0	1	2	86.67%
	横手	63	63	64	4	1	1	80.80%
	横手南	66	65	64	2	2	-1	95.70%
	西馬音内	16	16	17	0	0	1	61.70%
	湯沢南	19	17	19	0	4	2	77.63%
合計	稲川	7	7	8	2	0	1	88.00%
	横手東	13	12	13	1	0	1	82.69%
合計	42RC	1124	1,122	1,144	70	35	22	80.72%

◆2017年7月1日 会員数 1,122名
 ◆2018年4月末日 会員数 1,144名

ガバナー年度終了のご挨拶

2017-2018年度ガバナー事務所は6月30日をもって終了いたします。

これもひとえに皆様からの温かいご支援・ご指導と多大なるご協力の賜物と深く感謝申し上げます。一年間、誠にありがとうございました。

7/1以降は直前ガバナー事務所として8月下旬までしばらくの間残務に当たりますのでよろしく願いいたします。

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15黒龍芝公園ビル3階
 TEL(03)3433-6456・FAX(03)3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日